

自然共生社会へ 向けたアクション

「森・里・川・海保全」

- ① 森林や里山や海の藻場等の再生事業を行います。
- ② 産直産地や地域の団体と連携し、森・里・川・海を通して生物多様性の保全につなげる活動、商品の利用普及を組合員とともに推進します。
- ③ 一人ひとりが意識をしてくらすこと、くらし方を変えることにより、森・里・川・海を守ることができることを学び、伝えていきます。

循環型社会へ 向けたアクション

「食品ロス削減」

パルシステムの商品製造時や調達時における食品廃棄物発生量を削減します。また、食品廃棄物に占める最終処分量の比率を、2030年度に2021年度**0.94%以下に維持します。**

「紙使用の環境配慮」

紙の使用量を2030年度に2021年度を基準に**20%削減します。**

「3R促進」

リユース・リサイクル対象品の容器・包装を毎週回収することで資源循環と廃棄物の削減に取り組みます。リユースびんは**80%回収を目指します。**

「プラスチック削減」

- ① プラスチック製容器包装の排出総量を、2030年度に2021年度比で**25%削減します。**
- ② 物流資材使用総量、商品・カタログまとめ袋の使用総量を、2030年度までに2021年度を基準に**25%削減します。**
- ③ プラスチック製のペットボトル、米袋、商品・カタログまとめ袋の回収対象品については、2030年度までに回収目標を達成します。

踏み出そう パルシステムグループ 環境・エネルギー政策

2030年までの具体的な
目標や行動を定めました。

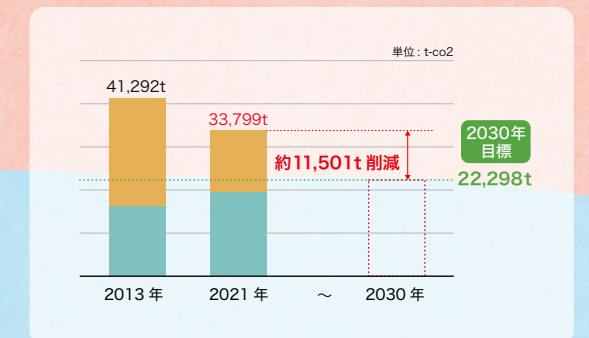
目標の設定範囲や
考え方の詳細は、
こちらへ→



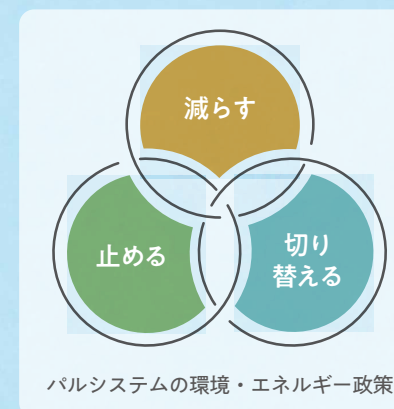
脱炭素社会へ 向けたアクション

「温室効果ガス削減」

温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で**46%削減します。**



「減らす・止める・切り替える」



- ① 事業で使うエネルギーは、効率化と最適化によりエネルギー消費を一層減らします。
- ② 脱原子力発電、持続可能なエネルギー政策を求める運動については、組合員や多くの活動団体と連携し、参加しやすく、共感が広がる活動に再構築します。
- ③ 事業所と組合員家庭への再生可能エネルギーの普及に取り組みます。

自然共生社会へ 私たちができること

森・里・川・海…
つながりを
イメージしましょう

食べることで
つながっている

【日本のこめ豚】国産自給の飼料米で育ったこめ豚。ふん尿は堆肥化して飼料米の生育に活用しています。
【沖縄県恩納村】もずくの生育に必要な栄養分や酸素を生み出すサンゴの養殖・植え付け活動などを実施。

「サステナブルな畜産」は、こちらへ



水を守ることは、
くらしの切り替えから

河川の水を汚さないように石けんを使う運動が生協の環境活動の原点です。私たちがふだん飲んだり、使ったりしている水は森から地下水、そして川から海へと自然環境のなかで循環しています。

「コア・フード」「エコ・チャレンジ」を
食べてみよう！

農地にはカエルやトンボなどさまざまな生きものが共存。環境保全による持続可能な農業をめざしています。2020年度、「コア・フード」「エコ・チャレンジ」の売上は対前年比146%と急増。利用率は32%で、2030年に向け取り組みをさらに広げます。

「オーガニックとサステナブルな農業」は、こちらへ



循環型社会へちょっとずつ続けよう

食品ロス削減で未来にイイコト

数字でみる食品ロス！日々の小さな工夫から減らそう

日本の食品ロスは年間約522万トン。国民ひとりが年間41kgもロスを出しています。“食べ残しをしない”が食品ロス削減への近道！

※令和2（2020）年度推計（農林水産省・環境省）より

事業系
食品ロス
275万トン

家庭系
食品ロス
247万トン



生産段階で食品ロスを削減した商品を選ぶ

茎を長めに残すことで廃棄量を削減した冷凍ブロッコリーや、規格外原料を活用した商品もたくさん。“選ぶ”ことも食品ロスの削減につながります。

茎が長い



わたしのアクションみつけよう！

みんなが集まれば大きな力に。
未来につなげよう。

脱炭素社会へ
知ることからはじめよう

省エネはお財布にも
地球にもやさしい！



「気候危機と脱炭素」
については、こちらへ

省エネ診断ツールで、自宅のエネルギー消費量を把握し、消費するエネルギーを減らす方法を考えるきっかけになります。

再生可能エネルギー中心のCO₂排出量の少ない電力会社に電力契約を切り替えてみる。



自転車や電車など、できるだけCO₂排出量の少ない交通手段を選択してみる。

エアコン・お風呂・冷蔵庫など家電の使い方（設定温度や使う時間など）を考えてみる。

グリーンカーテンや住居の断熱で、空調に使うエネルギーを減らしてみる。

使って戻してまた使おう！

リユース・リサイクルできるものを選んで、回収に回すだけ。大切な資源を上手に循環させましょう。

リユース（再使用）はどんなふうに戻ってくるのかな

リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）は、ふたたび同じ商品になったり、戻す前と違う商品になったりと限りある資源を大切に生まれ変わらせます。じつは空のびんを砕いて、新しくびんを作り直すより、洗って商品を詰め直すほうが、CO₂削減につながります。

いつも注文している調味料やジャムびん



地球にイイコトポイント

水ですすぎ、キャップやフィルムをはずしてパルシステムへ。



商品についているRマークを探そう



牛乳パックがトイレトーパーになります。



「パルシステムのリユース・リサイクルまるわかり！」は、こちらへ

ピッカピカの商品に生まれ変わります

20〜30回繰り返し使えます。届いた商品を見て、「これ何回かな？」と考えるのも楽しみのひとつです。

もっともっと戻そう

